

わたしたちは今
— 未来の灯を消さないために —
ステージ

Viva La Musica

昭和音大の コロナ禍での取り組み

人と人が関わりあって創り上げる音楽芸術の世界であるからこそ、私たちは「対面」での授業・レッスンを守り、さまざまなコロナ対策に取り組んでいます。学生生活を意義あるものにするために、一歩ずつ進んできました。

【2020年度 前期授業実施の流れ】

- ▼ 緊急事態宣言時の制限により、5月9日より遠隔授業を開始
- ▼ 6月1日より実技レッスン等一部の授業を対面により再開
- ▼ 6月15日より全面的に対面授業を展開

学生の健康を守るために

- 学生の健康状態の確認
(学内ポータルサイトを利用)
- 教職員の健康チェックの実施
- 消毒液の学内各所への設置
- 共用部分の定期消毒
- 換気の徹底、サーキュレーターの設定
- レッスン室の飛沫防止パネル設置
- 図書館・学生食堂等の座席の間引き、飛沫防止パネル設置
- 教室における対面授業の規模の縮小等
- 昼休みに注意喚起の放送

学生の生活を守るために

全学生を対象に緊急奨学金を給付

2020年5月、昭和音楽大学に在籍する全学生(大学学部生、大学院生、短大生)を対象に、1人10万円の緊急奨学金の給付を行いました。遠隔授業のための環境整備、教室外での学修環境の維持、感染防止対策に伴う生活費負担増など、コロナ禍でさまざまな影響を受けた学生を支援するための取り組みです。

100円朝食と200円夕食

本学では学生の食育への取り組みとして、学内のカフェテリアの朝食メニューを100円で提供してきました。さらに、2020年度にはコロナ禍での学生生活を応援するために、夕食メニューも200円で提供。これらの取り組みは、本学卒業生で組織する「同侪会」と大学が共同で行っているものです。



学生の夢を 守るために。

2020年、
新型コロナウイルスの影響で
世界は大きく変わりました。
皆さんの高校でも、
授業がオンラインに変わったり
演奏会やコンクールが
中止になったりと、きっと
多くの影響があったと思います。

私たち昭和音楽大学も
例外ではありません。
授業やレッスンはリモートに、
演奏会や発表会は中止、
思う存分に練習したいのにできない。
そんな日々が続きました。

6月という早い段階で対面での
授業やレッスンを再開したのは
音楽を愛し志す学生たちの不安を
少しでも解消し、心の灯を消さぬよう、
全力で応援したかったからです。
大切な練習環境、
そして未来の音楽家たちの夢を
守るために、私たちはこれからも、
教職員一丸となり
感染防止対策や学生支援を
続けていきます。





今できる最良の舞台を



コロナ禍での公演・イベント



「音楽は実践(ステージ)から」を体現してきた本学にとって、学生によるパフォーマンスの機会は何よりも大切にしていることです。コロナ禍において、他の音楽大学はもちろん、音楽業界全体でも公演やコンクールなどの発表の場が自粛傾向にあるなかで、本学では8月にはバレエ、9月にはミュージカルなど、学生の成果発表を開催しました。実施にあたっては、練習・リハーサル・本番と、どの段階においても学生・教職員が協力し合って万全の感染防止対策を講じ、無事に行うことができました。

また、1957年から続く本学の大学オペラ公演は国内の教育機関で最長クラスの歴史を誇ります。その歴史を絶やさないため、2020年度のオペラ公演では、さまざまな工夫や取り組みを行い、今できる最良のステージをキャスト・スタッフが丸となり創り上げました。

大学オペラ公演における感染防止対策



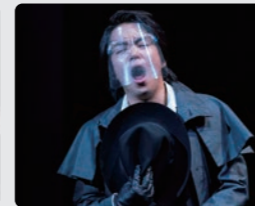
客席との距離を保つために、オーケストラピットを使用せず、オーケストラもステージ上で演奏



キャスト、合唱団は全員フェイスシールドを着用



アートマネジメントコースの学生も実習で参加し、舞台を支えた



昭和音楽大学 オペラ公演2020(ドン・ジョヴァンニ)

今後の公演・イベントについて

本学では感染拡大防止に努めながら、今後も学生による公演や発表の機会を設けていきます。

2020年4月～2021年3月 実施した公演および実施予定公演※ (学生が出演等の本学主催公演) ※2020年12月現在

一部、学内および出演者の関係者のみ公開で実施

2020年	2021年
<ul style="list-style-type: none"> 8月 <ul style="list-style-type: none"> 短大バレエコース前期成果発表 ジャズ・ポピュラー音楽コースミラライブ 9月 <ul style="list-style-type: none"> 第1回推薦演奏会 大学院修士課程 オペラ特別演習前期試演会1年 大学院修士課程 オペラ特別演習前期試演会2年 ミュージカルコース4年前期成果発表 ミュージカルコース3年前期成果発表 10月 <ul style="list-style-type: none"> 音楽教養コースコンサート 大学オペラ公演2020(ドン・ジョヴァンニ) 第2回推薦演奏会 短大ピアノコース秋のコンサート ピアノコンチェルトコンサート 電子オルガンアンサンブルと共に 第18回学長賞音楽コンクール予選・本選 11月 <ul style="list-style-type: none"> 第27回コンチェルト定期演奏会 作曲作品発表 ジャズ・ポピュラー音楽コースシウウケイス 第9回アンサンブルコンクール(映像審査) 管弦楽団第39回定期演奏会 吹奏楽団第34回定期演奏会 アートマネジメントコース 企画制作演習企画公演vol.2 12月 <ul style="list-style-type: none"> 第18回電子オルガン定期演奏会 第45回メサイア 吹奏楽団昭和ウィンド・シンフォニー 第21回定期演奏会 ミュージカルコース舞臺スタッフコース卒業公演 第3回推薦演奏会 短大バレエコース後期成果発表 ジャズ・ポピュラー音楽コースミラライブ 	<ul style="list-style-type: none"> 1月 <ul style="list-style-type: none"> ミュージカルコース3年後期成果発表 アートマネジメントコース企画制作演習企画公演vol.3 2月 <ul style="list-style-type: none"> 大学バレエコース卒業公演 大学院修士課程修了オペラ公演 大学院室内楽コンサート 短期大学部バレエコース卒業公演 ジャズ・ポピュラー音楽コース卒業ライブ 3月 <ul style="list-style-type: none"> 卒業演奏会

※今後の状況により開催内容の変更や非公開での実施となる場合があります。



在 学生が感じる昭和音大の魅力とは。

本学ミュージカルコースに在籍する森田真希さんに、

昭和音大での大学生活や、コロナ禍での学びの変化についてお話を伺いました。

学生インタビュー

コロナ禍の中、
実現した舞台は貴重な経験。
前へと進む、大きな力になりました。

音楽芸術運営学科ミュージカルコース 3年(2018年入学)
森田真希さん (神奈川県 私立 アレセア湘南高等学校 出身)

— 昭和音大を選んだ理由は？

「幼稚園の頃、両親に公演に連れて行ってもらったのが、ミュージカルに興味を持ったきっかけです。私もこれをやりたい!と両親にお願いして、歌やジャズダンスを習わせてもらい、いつの間にか将来はミュージカル女優になりたいと思うように。高校を卒業してそのまま劇団に入ることも考えましたが、やっぱり音大で音楽をしっかり学んでおきたい、ミュージカルコースのある昭和音大への進学を決めました。ほかにもミュージカルが学べる大学はありましたが、昭和を選んだのはオープンキャンパスや講習会を通じて何度か足を運ぶなかで、感覚的ではありますが、先生方や職員の方々がとても温かな雰囲気、いい学校だなと思ったからです」

— 受験対策はどのようなことをしましたか？

「高1の頃からいろんな大学を見に行っていたのですが、最終的に昭和に絞ったのは高3の夏前の頃でした。ジュニアミュージカルをやっていたので、オーディションのために歌やダンスの稽古は日常的にしていました。昭和音大の夏期講習に参加したり、地元の音楽教室に通ったりして、受験対策に励みました。音楽理論系の勉強は早めに取り組むことをおすすめします!」

— 実際に入学してみて、良かったなと思う点は？

「同じ目標に向かう人たちが集まっている環境そのものが、私にとっては大きな刺激になっています。高校時代は普通科だったので、それぞれにやりたいことも考え方も違っていたけれど、ここでは作品づくりなどでも、高い熱量で同じ方向を向けるのがいいですね。また、特に門下の先生とは距離が近く、普段の何気ない会話も楽しいですし、将来の進路についてもよく相談しています。学内に練習室やスタジオもたくさんあり、練習環境が整っていることも魅力だなと思っています」



— 同級生とはどんな関係性ですか？

「ミュージカルコースは、ひとつの作品をみんなで創り上げるのが基本ですから、“チームワーク”が必要とされると思います。もちろんいつも意見が合うわけではなく、異なる意見がぶつかり合うこともあります。でも、それぞれを尊重し理解し合っている実感があり、私にとって大学の仲間は第二の家族のような存在です。良きライバルであり、家族。そんな関係ができています」

— 2020年はコロナの影響で生活が大きく変わった年でもあったと思います。

「自粛期間はずっとうずうずしていましたね。動きたいし歌いたいし、みんなにも会いたい。だから他大ではオンライン授業が続くなか、対面授業を早い段階で再開してもらえたのは嬉しかったです。自分でも気をつけなければいけません、大学側での対策もしっかりとられていたので、安心して授業に取り組むことができました。授業ではずっとマスクを着用しているので苦勞もありますが、その制約のなかでどんな芝居をするかを模索することで、新しい発見もありました」

— コロナ禍での公演にも果敢に取り組まれましたね。

「例年6〜7月頃にコースの成果発表があるのですが、2020年はコロナの影響で早々に延期が決まりました。中止ではなく延期でしたが、それでもいつできるかわからないような状況。もしできなかった時に何も残らないのは悔しいなという思いがありました。そんななかクラス担任の先生から“何か作品として残したいね”という話をいただいたんです。そこで、先生方に作曲を依頼し、私たち学生で作詞をし、オリジナル作品を作ることにしました。プロジェクトがスタートした頃はリモートで授業を受けていたのですが、授業の空きコマを利用してオンライン上にクラス全員で集まり、作詞を進めていきました。やがて曲が完成し、構成を考え撮影をし始めた頃には対面授業も再開しています。ソーシャルディスタンスに配慮しながら、作品を仕上げていきました。先生方にも全面協力していただき、約4ヶ月かけて仕上げた作品。目標を持って過ごせたことはコロナ禍での気持ちの支えになりましたし、離れていても一致団結できたことですごく力をもらえました。逆境の中だからこそ経験できた、とても意義のある出来事だったと思います」



ミュージカルコース3年前期成果発表「Beautiful Girls!?!」



森田さんも出演!
成果発表
オープニング動画「Free」



ミュージカルコース3年前期成果発表を9月22日(火・祝)昭和音楽大学スタジオ・リリエで開催しました。新型コロナウイルスの感染防止対策を十分にを行い、無事に行うことができました。

音楽を楽しめる環境を より多くの人に届けるために。



山下友教さん(ソプラノサクソ)、野原朝宇さん(テナールサクソ)、奥野祐樹さん(バリトンサクソ)という、昭和音大出身の4人のメンバーで活動するAdam(アダム)。「普段音楽に馴染みのない人にも、音楽の楽しさを届けたい」そんな想いを持って活動する4人にも、楽しくも為になるお話を伺いました！

Adam (アダム)

写真左から

- 山下友教さん (ソプラノSax)
- 太田大地さん (アルトSax)
- 野原朝宇さん (テナールSax)
- 奥野祐樹さん (バリトンSax)

2015年2月結成。昭和音楽大学で出会った4人のサクソフォン奏者による、サクソフォン四重奏団。2015年に行われた「ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2015 in Tokyo」ではサクソフォン四重奏として史上初の第1位を受賞。以後、音楽の楽しさをひとりでも多くの人に伝えるために、4色のカラフルな衣裳を纏い、子供向けのコンサートをはじめ、体験型パフォーマンスやエンターテインメント性の高いコンサートを行っている。さらにYouTubeチャンネルを通じた活動など、さまざまな形で音楽を届け続けている。

公式ブログ



YouTube
チャンネル

SNSやニュースでも話題に！



メンバーの奥野さん・太田さんによる、小田急線新宿駅ホームでの深夜の即興演奏の様子(2020年9月)。



— Adam結成のきっかけを教えてください。

山下さん「在学中からAdamとして活動をしてきたわけではなく、結成は僕が大学院を修了してしばらくしてからでした。きっかけは、在学中にお世話になった先生から演奏依頼をいただいたこと。当時僕自身はソロやピアノトリオの活動が中心で、あまりやったことなかったカルテットをやってみたかった。それで、まずはパリ留学から帰ってきたばかりだった同期のシーサー(野原さん)に声をかけて。さらに、在学中と一緒に演奏をしたことがあった後輩のおっくん(奥野さん)と、もう一人の元メンバーも誘って結成に至りました。最初はコンセプトも特になく、何かやってみようという気持ちだけで始めましたが、「ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2015 in Tokyo」で一位を受賞したことでドイツに行く機会もいただいて…」

— ドイツに行ったことでAdamの活動にどんな影響がありましたか？

山下さん「ドイツに行って驚いたのが、日本とは比べものにならないほど、音楽が文化の一部として人々に浸透していることでした。そこで、日本に戻ってきてから自分たちにできることの一つとして、普段音楽に触れる機会の少ない人に音楽に親しむ環境を提供したいという思いで、子供たちを対象にした音楽活性化のフォーラム事業にも参加しました。それが今の活動のコンセプトの根幹にもなっています」

— 子供たちに音楽の楽しさを伝える活動はもちろん、日本全国でコンサートやイベントを行っていらっしゃいますが、コロナ禍でどのように活動されていますか？

奥野さん「幼稚園や保育園での活動も今年まではできておらず、2020年9月の琵琶湖ホールでの演奏会が今年度初の本番でした。久しぶりに演奏会ができたのは本当に嬉しかったです。一方で、ネット上でできることをやってみようと、3月末くらいからYouTubeチャンネルを開設し、週2回くらいのペースで配信しています。YouTubeを通じて知っていただき、いつか演奏会にも来ていただけたら嬉しいです」

山下さん「実はYouTubeはコロナ前から元々予定していたことなんです。自分たちの集客力をどう高めていくか?と考えた時に、アプローチの仕方をオフラインからオンラインにしてみたくて。ピンチをチャンスに変えるような気持ちで始めました。」

— 2020年9月には、人身事故で終電が遅延した小田急線新宿駅ホームでの深夜の即興演奏もSNSやニュースで話題となりましたね。

太田さん「その日はメンバーで遅くまで打ち合わせとリハがあり、たまたま楽器を持っていたんです。おっくん(奥野さん)と新宿駅で終電に乗ろうと思ったら、電車が遅延していて。最初は1時間とアナウンスされていたのが、さらに1時間ぐらいい遅延することがわかって。日曜日の深夜でしたから、明朝は早い方も多いですね。車内には重い空気が漂っていました。そんな時に、その場にいた方から“ここで吹いてよ”って」
奥野さん「やるかやらないか迷ったら“やる”選択を取ることをいつも意識していましたから、楽器を出して2人で演奏を始めました。30分くらい演奏するなかで、だんだん手拍子が起きてきて、叫んでいる人もいましたね。その瞬間は、ホームがライブ会場のような感じ。もちろん本来は演奏してはいけない場所だとわかってはいましたが、特別なタイミングだからこそ成り立つ、奇跡的な出来事だったと思います」

— 素晴らしい体験でしたね!とところで、全員昭和音大の卒業生ということで、今振り返って思う昭和音大の良かったところを教えてください。

太田さん「大学時代は同期の男だけでSaxカルテットをずっとやっていたのですが、昭和音大祭(学園祭)でステージ賞をいただいたのがきっかけだったのか、大学から本当にたくさんの演奏依頼をいただきました。自分たちのやる気さえあれば、演奏活動に対して厚くバックアップしてくれる大学だなとすごく思います。当時のカルテットは結局解散してしまいましたが、その頃のたくさんのステージ経験は今も生かされています」
奥野さん「僕も大学のバックアップには本当に助けられました。特に卒業付近1年は大学からの演奏依頼に支えられていました。それに、昭和音大のSaxは、同期が30人もいる特別な環

境でもあります。そこで一緒にやってきたみんなとは、ほかの出会い方をした人とは違う、ちょっと特別なものをいまだに感じています。すごい時間を過ごせたと思っています」

野原さん「僕も同期の人数の多さは入学理由の一つでもあり、同期とは今でも繋がっています。それだけではなく、悩んでいる時に相談にのってくれる先輩や後輩、お世話になった先生方もたくさんいます。ずっと繋がっていられるのは嬉しいです、この学校だからこそかなと思いますね」

山下さん「大学から大学院まで6年間ひとつのことに集中して取り組めたことは、自分の中で大きな経験になっています。結果として今の活動にも繋がっていますし、今の自分の重要な部分を作っていることには変わりないと思います」

— 最後に、これを読んでいる受験生の皆さんへアドバイスをお願いします。

太田さん「まずは受験勉強をがんばってください。そして大学に入ったら、もちろん練習はめちゃくちゃがんばってほしいけど、大学での出会いも大切にしてください」

奥野さん「今は自分自身を発信できるあらゆるツールが身近にあります。それを使って、ひるまずにがんがん発信してください。そこで何か言われても気にせずに貫き通せばいい。あとはとにかくいっぱい練習をして、いい音楽と一緒にやりましょう」

野原さん「コロナで演奏会やコンクールがなくなり、モチベーションがすごく下がっている時期だと思います。でも、絶対に状況は変わっていく。この先にある環境でがんばれる自分になれるよう、今の生活をがんばろう。僕もがんばります」

山下さん「どんなにいいと思ったことにもリスクは存在するし、逆にどんなに悪いと思ったことにもメリットは存在する。結局、物事そのものにはいい悪いはなく、ただその人の価値観で善し悪しを判断しているに過ぎません。つまり僕たちは、常に自分のやりたいと思うことをやっているんです。だからすべてに対して自分が自由に決められることに感謝し、自分の言動すべてに責任を持つことで、きっともっと大きなパワーを生み出すことができると思います」

オープンキャンパス & 講習会

コロナウイルス感染防止対策実施しております



オンライン講習会も実施中!

体験型の模擬授業や学生によるミニコンサート、キャンパス見学など、「音大生」を体験できるさまざまな企画を年間通じて開催しています。

OPEN CAMPUS PICK UP! PROGRAMS

学校説明



昭和音大の特色を映像を交えてご説明いたします。入試や奨学金制度についてもご紹介します。

キャンパス見学



キャンパス内を見学できます。特に劇場の見学は圧巻です。

模擬授業・授業見学



実際の授業を見学できるのはもちろん、授業の内容を体験できる特別プログラムによる模擬授業も開催。

個別受験相談



進学アドバイザーや各コースの教員に、受験や進学について個別に相談できます。

コース別オープンキャンパス

すでに希望のコースが決まっている方におすすめ! コース別のオープンキャンパスでは、カリキュラムや学生生活を紹介します。同日開催のコース関連イベントに無料ご招待もしています。

平日学校見学〈事前予約制〉

イベント時以外にも、個別でのキャンパス見学やコース・入試制度の説明、個別受験相談などが受けられます。ぜひお気軽にご参加ください。

オープンキャンパス

オープンキャンパスについて詳しくはこちら



講習会

- 受験講習会
- 夏期講習会・冬期講習会

講習会について詳しくはこちら



年間を通じて実施する講習会では、幅広いメニューをご用意しています。「受験までにどんな勉強をすればいいの?」「自分の実力を確認したい!」受験までの道のりを本学教員がサポートします。また、オンラインによる講習会も行っています。

受験講習会

本学教員によるレッスンや楽典・ソルフェージュ講座などを気軽に体験できる1dayプログラムです。入試前のチェックにも!

PICK UP! PROGRAMS



実技個人レッスン

ご希望の教員を指名できます。あこがれの先生のレッスンが受けられるチャンスです。



ミュージカル実技チャレンジ

ミュージカルの基礎テクニックについて4項目の実技テストを元に、本学教員がアドバイスします。



ジャズ/ロック&ポップ アンサンブルセミナー

初心者もOK! 個人またはバンド単位で参加できるアンサンブルレッスンです。

夏期講習会・冬期講習会

3~4日間の短期集中講座です。実力UPが実感できます!

PICK UP! PROGRAMS



実技個人レッスン

本学教員による個人レッスンを対面またはオンラインで受けられます。また、楽典やソルフェージュ講座、副科ピアノのレッスンも選択できます。



バレエ講座

実技から座学までバレエに関わるさまざまな内容を学ぶことができる3日間連続講座です。



DTM講座

コンピューターを用いた音楽制作について基礎から学べる集中講座。作曲系各コース、ジャズ・ポピュラー音楽コース志望者が対象です。

実技個人レッスンを受けました。丁寧に教えていただき45分間があったという間でした。

参加者の声 2020夏期講習会〈対面〉

先生のレッスンを受け、音楽をより楽しく感じられるようになりました。

参加者の声 2020受験講習会〈対面〉

大学の先生のレッスンはとても刺激があり、たくさんの収穫がありました。

参加者の声 2020夏期講習会〈対面〉

アンサンブルセミナーで先輩たちと演奏する機会があり、とても雰囲気良くより一層楽しめました。

参加者の声 2020受験講習会〈対面〉

講習会前はかなり緊張していたのですが、先生が優しく終始楽しく受講できました。オンラインという形で地方に住む自分でも受講できるのが助かります。

参加者の声 2020夏期講習会〈オンライン〉

昭和音楽大学スペシャルムービー

昭和音楽大学のリアルなキャンパスライフを体験できる動画や、受験生向けの入試対策動画なども配信中! ぜひご活用ください。



昭和音楽大学公式 YouTubeチャンネル



スペシャル動画

昭和音楽大学

~ Welcome to Showa University of Music ~



動画で入試対策

「楽典/ポピュラー音楽理論の学び方」



あなたの熱い想いを
ステージで輝かせるために。
私たちはこれからも
さまざまな変化に対応しながら
チャレンジし続けていきます。
ともに、未来のステージへ。

WEBサイト



講習会・オープンキャンパスは **ウェブサイト**で
お申し込みができます。
～聴取会・体験会・個別サイト～
行こうよ! SHOWA!
<https://event.tosei-showa-music.ac.jp>

サイトへは
こちらから!



昭和音楽大学
昭和音楽大学短期大学部
昭和音楽大学大学院

〒215-8558
神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1
TEL 0120-86-6606 (入試広報室直通)
<https://www.tosei-showa-music.ac.jp>

※本誌に掲載している内容は、2020年12月現在の情報で、学生の学年・コースは取材時(2020年度)のものです。